AudioComm®

取扱説明書 保証書付

ポータブルCDプレーヤー

**このたびは、AudioComm® ポータブルCDプレーヤーを
お買い上げいただき
誠にありがとうございます。**

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

主な仕様

項目	内容
型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
周波数特性	20Hz～20,000Hz
チャンネル	2チャンネル(ステレオ)
ワウ・フラッター	測定限界値以下
出力端子	ヘッドホン出力／最大出力レベル 15mW+15mW
電源	DC3.0V 単3形アルカリ乾電池(LR6)2本(別売) ACアダプター定格 DC4.5V 500mA ⊖-◉-⊕(専用ACアダプター付属)
使用時間の目安	アルカリ乾電池使用時：連続再生時間11時間(使用状況により異なります)
外形寸法	幅141X高さ29X奥行141mm(突起物含まず)
質量	約200g(乾電池・付属品含まず)
付属品	専用ACアダプター、リモコン(クリップ付)、ステレオイヤホン

※仕様及び外観は予告なく変更することがあります。
※この取扱説明書で使用しているイラストは、一部実際の製品と異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

お手入れのしかた

●キャビネットのお手入れ
キャビネットの汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を湿らせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
●レンズ部のクリーニング
クリーニングの前に必ず電源を切ってください。レンズ部にゴミやほこりがついた場合は、市販のブロワーでレンズを2～3回吹き、ブロワー先端のブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。

安全上のご注意

⚠警告 以下を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに停止ボタンを2回押して電源を切る。
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
●万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。
●分解、修理、改造しない。 火災・感電の原因となります。
●台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない。
火災や感電の危険があります。
●乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する。 乾電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。
●車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない。
交通事故の原因になります。また歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
●AC電源にて使用するときは必ず付属のACアダプターを使う。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しない。
製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない。また、自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない。
製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となります。
●海外では使用しない。 本機は日本国内でのみ使用可能です。
●本機やACアダプターを布団などで覆わない。
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
●雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない。 感電の原因になります。
●ピックアップレンズを覗き込まない。 レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

注意 以下を無視して誤った取扱をすると、感電やその他の事故により、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない。
落下による故障やけがの原因となることがあります。
●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体に悪い影響を与え故障の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かない。 火災・感電の原因となることがあります。ほこりがつかないように、ディスク・乾電池の出入れ時以外は必ずCDドアを閉じてください。
●乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる。
間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
●指定以外の乾電池は使用しない。
乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
●長時間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す。
火災・液もれの原因となることがあります。
●落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。
CDが傷ついたり、本機の故障や破損の原因になることがあります。
●はじめからボリュームを上げすぎない。 突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
●長時間、大音量で聴き続けない。 周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
●電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない。
電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
●ピックアップレンズには指を触れない。 再生不良や故障の原因となることがあります。

乾電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂などにより、火傷や大けが、失明の原因になります。

⚠警告
●乾電池が液もれしたときは、液が本体内部に残ることがあるため、弊社修理ご相談センターにご相談ください。
●液が目に入ったときは、失明の原因となるおそれがありますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●取扱説明書(本書)の説明に従い、⊕と⊖を正しく入れてください。
●充電しないでください。●火の中に入れないでください。●ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
●アルカリ乾電池とマンガン乾電池など種類の異なる乾電池や、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。
●火の近くや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
●水などで濡らさないでください。浴室など湿気の多い場所で使わないでください。

注意
●使い切った乾電池は取り外してください。長時間使用しないときも取り外してください。

使用済みの電池の廃棄に関して、自治体の条例などで決まりがある場合には、それに従って廃棄してください。

各部の名称

本機／側面(後)

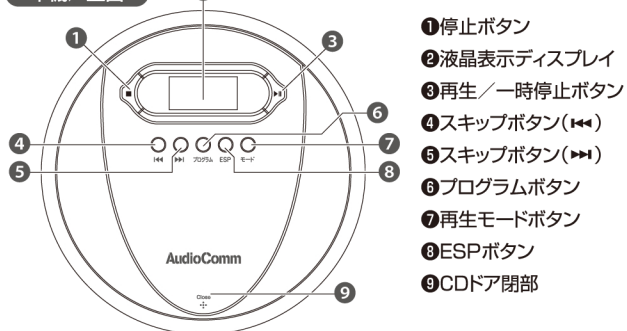
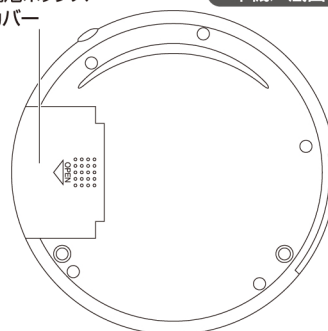
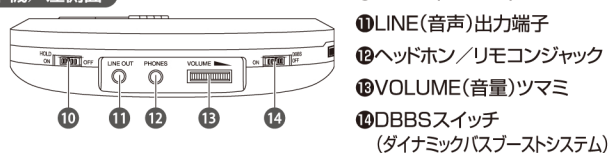
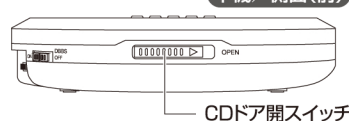
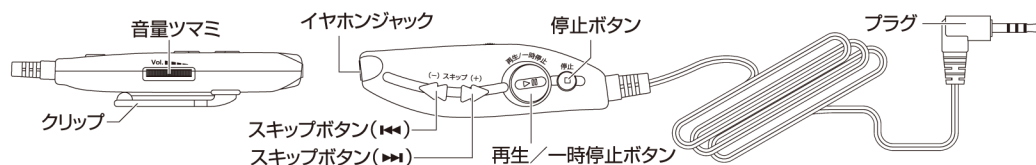
本機／上面

❶停止ボタン
❷液晶表示ディスプレイ
❸再生／一時停止ボタン
❹スキップボタン(⏮)
❺スキップボタン(⏭)
❻プログラムボタン
❼再生モードボタン
❽ESPボタン
❾CDドア閉部

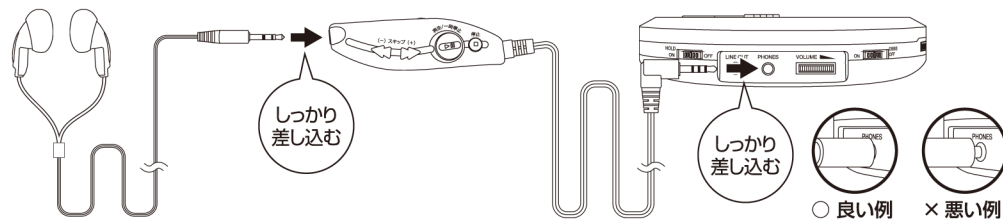
本機／底面

電池ボックスカバー

本機／左側面

⓾HOLD(ホールド)スイッチ
⓫LINE(音声)出力端子
⓬ヘッドホン／リモコンジャック
⓭VOLUME(音量)ツマミ
⓮DBBSスイッチ
(ダイナミックバスブーストシステム)

本機／側面(前)

リモコン

接続のしかた

イヤホンのプラグをリモコンのイヤホンジャックに差し込み、続いてリモコンのプラグを本機のヘッドホン／リモコンジャックに差し込みます。 **※ヘッドホン／リモコンジャックは、使用中に外れにくいよう固くなっています。リモコン装着時には正しく差し込んでください。**

- 接続は電源が切れた状態で行なってください。電源が入ったまま行なうと誤作動の原因になります。もし誤作動が起きたときは、電源を切り、再度電源を入れてください。
- 接続時はリモコン及び本機の音量ツマミを最小にしてください。
- 本機及びリモコンの接続はしっかりと差し込んでください。
- 各プラグを抜き差しするときは、コードではなく、必ずプラグ本体を持って行なってください。断線や破損のおそれがあります。

電源について

乾電池で使うときは…

1. 電池ボックスカバーの ▦ 部を押しながら矢印の方向にスライドさせて開けます。
2. 単3形アルカリ乾電池(LR6)2本(別売)を図の通りに正しく装着します。
3. 電池ボックスカバーを元通りにしっかりと閉めます。

電池の残量が少なくなるとディスプレイの電池マーク(▭)が点滅しますので、早めに新しい乾電池に交換してください。

底面

リボンの上から乾電池を装着すると、取り外しやすくなります。ただし、**電池ボックスカバーを閉める際、リボンがはみ出さないようにご注意ください。**

専用ACアダプター(付属)を使うときは…

- 専用ACアダプター(付属)を使うと長時間のリスニング時に便利です。
- ACアダプターは本機に付属のもの以外は使用しないでください。
- 専用ACアダプター(付属)を使うと自動的に電源がACアダプターに変更されます。

必ず付属の専用ACアダプターをお使いください

側面(後)

電源のオン・オフについて

電源オン…再生／一時停止ボタンを押すと、電源が入ります(ディスクが回転し、再生が自動的に始まります)。

電源オフ…停止ボタンを2回押すと電源が切れます。停止状態で約30秒間何も操作しない場合も、自動的に電源が切れ、ディスプレイ表示も消えます(**オートオフ機能**)。

CDについて

- ディスクに のマークが入ったものをご使用ください。
- 現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
  なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCDのマーク

- 本機はCD-R／CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
  ○CD-R／CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
  ○ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
  ○本機ではMP3やWMAなど、圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。

DualDisc についてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した映像用と音楽用のディスクを組み合わせた両面ディスクです。このDualDiscはコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

ディスク使用上の注意点

- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。
- ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。
- 再生面に触れないように持ってください。
- 再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。
- 長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

CDを聴く

イヤホン、リモコンを接続し、音量を最小に絞ってから操作してください。

1 CDドア開スイッチをスライドさせて、CDドアを開けます。

2 CDのレーベル面を上にして正しくセットした後、CDドア閉部を押してCDドアを閉めます。

本 機 / リモコン

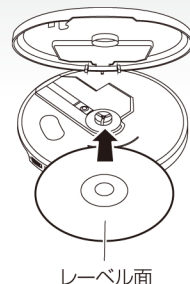
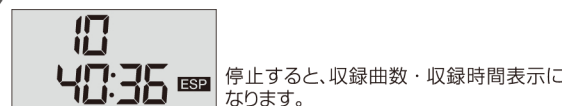
3 再生／一時停止ボタンを押すと電源が入り、ディスクの読み込みが始まります。しばらくすると、液晶表示ディスプレイに収録されている曲数と収録時間が表示され、続いて再生が始まります（再生が始まると曲番号と再生経過時間が表示されます）。
※ディスクが入ってない状態で再生／一時停止ボタンを押すと、エラー表示が出ます。

4 VOLUME（音量）ツマミで音量を調節します。
※本機、リモコン双方で調節できますが、本機の音量設定が最小の場合、音は聴こえませんのでご注意ください。
※音量の上げすぎにご注意ください。大きな音量で長時間聴き続けると、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。

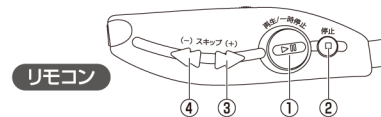
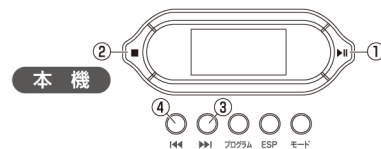
5 再生中に再生／一時停止ボタンを押すと、一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

一時停止中は経過時間が点滅します。

6 再生を止めるには、停止ボタンを押します。

停止すると、収録曲数・収録時間表示になります。

使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後は本機のCDドアを必ず閉めてください。

本機とリモコンのボタン機能について

本 機 / リモコン

再生する・一時停止する	再生／一時停止ボタンを押す	①
再生を停止する	停止ボタンを押す	②
次の曲の頭出しをする	スキップボタン（⏭）を短く一度押す	③
さらに次の曲に進む	スキップボタン（⏭）を繰り返し押す	③
聴いている曲の先頭に戻る	スキップボタン（⏮）を短く一度押す	④
さらに前の曲に戻って再生する	スキップボタン（⏮）を繰り返し押す	④
早送りをする	スキップボタン（⏭）を長く押す	③
早戻しをする	スキップボタン（⏮）を長く押す	④
電源を切る	停止ボタンを2回押す	②

再生モードボタンを使ったさまざまな再生方法

本機の再生モードボタンを押すと、様々な再生方法を楽しむことができます。

再生モードボタンを1回押す　1曲リピート

聴いている曲を繰り返し再生します。
●曲を選んで繰り返し聴くには、一時停止中または停止中にスキップボタン（⏮／⏭）で曲番号を選び、再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。

1曲リピート中は液晶表示ディスプレイに 🔁1 が表示されます。

再生モードボタンを2回押す　全曲リピート

CD内の全曲を繰り返し再生します。
●再生中に全曲リピートを選んだ場合は、そのまま全曲を繰り返し再生します。
●一時停止中または停止中に全曲リピートを選んだ場合は、再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。

全曲リピート中は液晶表示ディスプレイに 🔁ALL が表示されます。

●1曲リピート、全曲リピート、イントロ再生、ランダム再生を解除するには、液晶表示ディスプレイの各マークがすべて消えるまで、再生モードボタンを数回押してください。
●停止ボタンを押した場合、各再生モードは解除されます。

再生モードボタンを3回押す　イントロ再生

CD内の曲を最初の10秒ずつスキップしながら再生します。
●停止中にイントロ再生を選んだ場合は、再生／一時停止ボタンを押すとイントロ再生が始まります。
●一時停止中にイントロ再生を選んだ場合は、再生／一時停止ボタンを1回押すと1曲目に戻って一時停止状態になります。その後、さらに再生／一時停止ボタンを押すと、1曲目からイントロ再生が始まります。
●再生中にイントロ再生を選んだ場合は、聴いている曲を最後まで再生し、次の曲からイントロ再生が始まります。

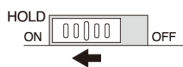
イントロ再生中は液晶表示ディスプレイに INTRO が表示されます。

INTRO が点滅している場合は、再生中または一時停止中にイントロ再生モードを選んだため、待機中であることを示しています。上記の説明を参照して、イントロ再生開始の操作をしてください。

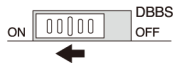
再生モードボタンを4回押す　ランダム再生

CD内の曲をランダムに再生します。
●再生中にランダム再生を選んだ場合は、聴いている曲をそのまま最後まで再生し、次の曲からランダム再生が始まります。
●一時停止中または停止中にランダム再生を選んだ場合は、再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。一時停止中の場合は再生再開時にランダムに選ばれた次の曲から再生が始まります。

ランダム再生中は液晶表示ディスプレイに RAND が表示されます。

誤作動を防ぐホールド機能

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押されて動作するのを防ぎます。有効にするにはHOLD（ホールド）スイッチを「ON」側にスライドさせてください。「OFF」側にスライドさせると解除できます。

ホールド機能は本機のボタンに対してのみ有効です。リモコンはホールドの設定に関係なく機能します。

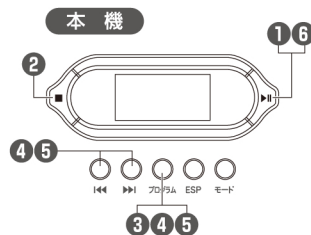
重低音強調

DBBS（Dynamic Bass Boost System）とは、重低音を強調する機能です。DBBSスイッチを「ON」側にスライドさせると、重低音が強調されます。「OFF」側にスライドさせると解除できます。

音飛びを防ぐ自動 ESP 機能

ESP（Electronic Shock Protection）とは、自動的に60秒間のデータを蓄え、音飛びを防ぐ機能です。本機では、再生を始めると、自動的にオンになります。ESP機能を解除するにはESPボタンを押してください（解除すると ESP マークが消灯します）。

●再生中にESPのオン／オフを切り換えると、一時的に再生が中断し、すぐにまた音声が出力されます。
●ESP機能がオンのときは、液晶表示ディスプレイに ESP マークが点滅します。
●再生当初はメモリーへの蓄積が十分でないため、音飛び防止が十分に働かないことがあります。
●ESP機能をオフにすると、より高音質になります。

プログラム再生

聴きたい曲を好きな順番で聴くことができます。一度に最大20曲まで登録できます。

●曲順を確認したいときは、ステップ6の前にプログラムボタンを繰り返し押します。
●プログラムを修正したいときは、ステップ6の前にプログラムボタンを数回押して変更したい曲順番号を選び、スキップボタン(⏮／⏭)を押して曲番号を変更した後、プログラムボタンを押します。
●停止ボタンを押す、または電源を切ると、プログラムは解除されます。
●プログラム再生開始後は曲順の修正はできません。停止ボタンを押してプログラムを解除した後、もう一度最初から登録し直してください。

CDを本機にセットした後、以下の操作をしてください。

❶ 再生／一時停止ボタンを押して、電源を入れます。

❷ 収録曲数表示になったら、停止ボタンを押して自動再生を停止します。

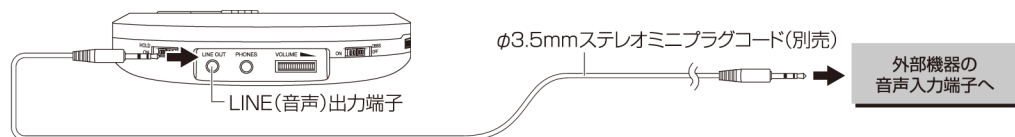
❸ プログラムボタンを押します。
PROGマークと曲番号「00」が点滅し、プログラム番号「01」が表示されます。

❹ スキップボタン(⏮／⏭)を押して1曲目に登録したい曲番号を選び、プログラムボタンを押します。
曲番号「02」が表示され、2曲目に登録したい曲を選べるようになります。

❺ ステップ3と4を繰り返し、聴きたい曲を順次登録していきます。

❻ すべて登録を終わったら、再生／一時停止ボタンを押して再生を始めます。プログラム再生中は PROG マークが点灯します。

外部機器に接続する

LINE(音声)出力端子を使って外部のスピーカーシステムやコンポなどに接続すると、本機の再生音を出力できます。接続にはφ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)をお使いください。

接続及び取り外しは、必ず本機及び外部機器の電源を切ってから行なってください。

故障かなと思ったら

電源が入らない	●乾電池が入っていますか　●乾電池の向きは正しいですか　●乾電池が消耗していませんか
再生が始まらない	●CDドアがしっかりと閉まっていますか　●HOLD(ホールド)スイッチがオンになっていませんか
	●ディスクが裏返しに入っていませんか　●レンズがひどく汚れていませんか
	●一時停止状態になっていませんか　●結露していませんか
音が出ない	●リモコンやイヤホンのプラグがしっかりと差し込まれていますか　●音量が最小になっていませんか
リモコンで音量調節ができない	●本機側の音量設定が最小になっていませんか
音飛びがする	●レンズが汚れていませんか　●ディスクに傷があったり、ひどく汚れていませんか
	●強い衝撃や振動のある場所で再生していませんか
正常な表示や動作をしない	●乾電池が消耗していませんか　●リモコンのプラグがしっかりと差し込まれていますか

保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ポータブルCDプレーヤー			★お買い上げ日：　年　月　日
型　番	CDP-3866Z	品　番	07-3866	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)

お客様	★お名前　　様
	★ご住所　〒　－
	電話　(　)

修理メモ

販売店	★住所　店名　電話　印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ
●通話料無料 0120-963-006　●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00　日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00　土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-3866A